

編集後記

気がつけば日脚もめっきり短くなり、冬の訪れを感じております。本稿を執筆している11月もキャンパスの木々が葉を落とし、冬支度を開始しているようです。

今号の論文掲載におきましては、玉稿をお寄せくださった先生方のお陰様で興味深い論文の数々を掲載することが叶いました。この場を借りて心よりお礼申し上げます。また、今回掲載が叶わなかった先生方も、是非とも次号にご寄稿頂ければ幸いです。

* * *

2004年に早稲田ロースクールが創設されて今年で20周年を迎えます。このような節目におきまして、本年度も弊誌『Law&Practice』を発刊できること幸甚に存します。

サークルの創設から20年の間に司法試験制度は数々の変化を繰り返してきました。昨年度からはロースクール在学中に司法試験を受験できる、在学中受験の制度も始まりました。昨年と同様にサークルは変革期を迎えており、受験勉強とサークル活動との折り合いがつくよう活動内容や組織構成に変更を加えつつ、今まで作り上げてきたサークルのイメージを崩さないよう活動に取り組んできました。そして、このような変革期にもかかわらず、多くの優秀な新入生が弊サークルに加入してくださりました。今後も弊サークルを益々盛り上げていき、この節目から数えて、さらに10年後、20年後と脈々と引き継がれていけるよう持続可能な活動を目指していきます。

また、本年度より、OB・OGとの連携をより強化していくことをサークルの方針として決定し、諸先輩方との交流を深めてまいりました。法曹界やその他の業界に進まれたサークルのOB・OGの方々との交流を経ることで知見を深めて

いき、サークルの掲げる理念である「理論と実務の架け橋」の役目を果たせるような雑誌づくりに励んでいく所存であります。

加えて、弊紙をより身近な存在にしたいという考えから引き続き、公募論文につきましても積極的に募集しています。皆様のご応募お待ちしております。

* * *

今号につきましても、玉敲をお寄せくださった先生方、本学を修了されたOB・OGの方々、ご寄付を賜った先生方、三美印刷株式会社様、編集委員の皆様、これまで活動に関わっていただきましたすべての皆様のお力添えのおかげで無事に『Law&Practice』を発刊することができました。改めて、お礼申し上げます。これからも、サークル Law&Practice は、様々な課題に挑戦し、活動を継続していく所存です。皆様におかれましては、変わらずのご協力をお願い申し上げます。

編集長 伊藤 駿介